

資料2

教科書教材(光村)における接続語の頻度

学年	合計	内容
1年	46	でも、それとでも、また、ところ、つまり、24種類について教科書教材を調査した。その一部分。
2年	92	
3年	151	
4年	167	
5年	303	
6年	239	
総計	998	

接続語の意味別頻度と割合(%)

順	接	割合
順	接	18.9
逆	接	28.6
添	並	44.4
説	明	4.5
話	題	3.3
選	択	0.3

接続語の総計の多いもの(個)

そして(添加並列)	227
また( )	119
しかし(逆接)	89

接続語の総計の少ないもの(個)

なお(添加並列)	2
それとも(選択)	3
しかも(添加並列)	5

(2) 教科書教材(光村)における接続語の頻度とその割合は、資料2のとおりである。

① 接続語の数は、五年の教科書教材が、三百三と一番多い。

② 一年から三年までは、四十六→九十二→百五十一と約二倍になっている。

③ 一番多いのは、「そして」「また」「しかし」で、少ないものは、「なお」「それとも」「しかも」である。(紙面のつごうで一部省略する)

(3) 一時間の授業における到達基準の明確化とその方法

① 学年の目標の下に到達目標を設定し、更に、具体的内容を設定する。

② 一時間の授業における接続語の到達基準を設定する。(資料1参照)

資料3 検証授業学習指導案(指導過程)

段階	学習内容・活動	時間	指導上の留意点
把握	1 本時のねらいをつかむ 2 教科書P44「大陸は動いている」の中に使われている接続語に線を引く	7分	• 接続語は文と文をつなぐ役割をもっていることを確認する【到達基準①】 • ところが、しかし、そして、つまり… • 教科書教材文の中の接続語が指摘できたか
解決	(2)文によって使う接続語が限定されることを知る ①大きな赤十字の旗を右に左にゆっくりふり続けた。今までさかんに鳴りひびいていたプロシャ軍のほう声がびたりとやんだ。 ②仕方なく勉強に取りかかった。その勉強もなかなか身にはいかない。 ④順接のはたらきをする接続語はほかにどんなものがありますか ⑤逆接のはたらきをする接続語はほかにどんなものがありますか (3)接続語をつかった練習作文をする ④「すると」「でも」という接続語はどんなときに使うかを考えて短か一文をつくってみよう	20分	• 「なると」と「でも」の比較によって順接と逆接のちがいを明確にさせる • ①の文例には「でも」②の文例には「すると」は使うことはできないことを理解させる • 順接(そこで、それで、だから……) • 逆接(けれども、ところが、それでもしかも……) • 「すると」を使うときは、前の文は後の文の訳や原因になること「でも」の場合は前の文を後の文は反対の内容になることを再確認させ練習作文をさせる • 発表させ適切な使いかどうか調べさせる • 到達基準②(ここをつなぐのに正確かつ適切に表現に生かすことができる)を確認する • 到達基準④(ある文に順接、逆接の接続語を練習作文を附して理解し適切に表現、文中に使用することができる)を確認する
確認・定着・まとめ	4 接続語の使い方を整理する		

(4) 検証授業計画(紙面のつごうで五年だけとする。)

ア 題材名 文と文をつなぐ言葉

イ 題材の目標 文と文との関係を考えながら、練習作文を通して接続語の役割や使い方を理解し、的確に表現に生かすことができる。

ウ 指導計画：略

エ 本時の目標 接続語の役割や使い方を、練習作文を通して理解すること

段階	学習内容・活動	時間	指導上の留意点
把握	1 接続語の使い方を確認する 2 本時のねらいをつかむ 3 接続語の役割や使い方について復習する	7分	• 到達基準①(接続語は文と文をつなぐ役割をもっているといえる)を確認する
追求	(1)きれいな小川や山が見えてきました。どこまで行っても青い空が続いていました。 (2)ねむっている間に何時間たったのか。何時間になったのかどうして分かるでしょうか ④この二つの文の間につなぎ言葉を入れてみましょう ⑤「そして」「また」を使って練習作文しよう	28分	• 特に順接と逆接について復習をする • 「そして」「また」 • 添加並列…前のことがらに次のことがらをつけ加えたり、また前のと並んで存在することがらをあげたりすることがらをあげたりするのに使われる • 発表させ適切な使いかどうか調べさせる • 到達基準④(略) • 到達基準②(略)
まとめ	4 接続語の順接、逆接、添加並列、説明細目、話題転換、選択のそれぞれのはたらき、その使い方についてまとめをする	10分	• 到達基準④(ある文に順接、逆接、添加並列、説明細目、話題転換、選択の接続語を練習作文を通して理解し適切に表現の中に使用することができる)を確認する

オ 本時指導の意図 新出接続語「しかも」の役割や使い方を、文例や練習作文を通して理解させる。また、今まで学んだ接続語「すると」「でも」「そして」「また」「つまり」「たとえば」「ところで」「それとも」などを比較、分類、文例による前後の関係を練習作文などにより理解の定着を図り、的確に表現の中に